

講義科目4-10

血液免疫病学モデル・コア・カリキュラム

全体目標

造血機構、血球数算定検査、骨髄検査について学び、赤血球・白血球・血小板の増加と減少の機構を理解するとともに、各種血液疾患に関する臨床的な考え方と対応法を修得する。

(1) 造血機構と血液・免疫系疾患の検査

一般目標：

各種病態における赤血球・白血球・血小板の増加と減少を解釈し、また各種血液疾患の病態、診断法、治療法を論理的に理解するために、造血機構に関する概念と基礎知識を修得する。

到達目標：

- 1) 赤血球系・骨髄球系・巨核球系細胞の分化成熟の過程を説明できる。
- 2) リンパ系細胞の分化成熟の過程を説明できる。
- 3) 血液・免疫系疾患の検査の意義とその解釈を説明できる。

(2) 貧血と赤血球増加症

一般目標：

貧血および赤血球増加症の病態を理解し、その原因と分類を学ぶ。

到達目標：

- △1) 貧血の分類とその鑑別方法を説明できる。
- △2) 赤血球の形態変化を説明できる。
- △3) 各種貧血の特徴を説明できる。

(3) 白血球増加症と白血球減少症

一般目標：

白血球数の変化が起きる機序を理解し、白血球増加症と白血球減少症の臨床的意義を学ぶ。

到達目標：

- △1) 好中球増加症・減少症が起こる病態を説明でき

る。

- △2) 好酸球の増加と減少が起こる病態を説明できる。
- △3) 単球の増加が起こる病態を説明できる。
- △4) リンパ球の増加と減少が起こる病態を説明できる。

(4) 出血傾向

一般目標：

生理的な止血機構と血小板・凝固線溶系検査を学び、出血傾向が認められる各種病態に関する基礎知識を修得する。

到達目標：

- △1) 生理的な止血機構を説明できる。
- △2) 血小板・凝固線溶系検査を説明できる。
- △3) 血小板減少症が認められる病態を説明できる。
- △4) 凝固因子欠損（欠乏）症を説明できる。
- △5) 播種性血管内凝固（DIC）の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。
- △6) 血栓塞栓症の原因、病態、診断法および治療法を説明できる。

(5) 免疫介在性血液疾患

一般目標：

免疫介在性血液疾患の分類と病態を学び、その診断法、治療法、予後に関する基礎知識を修得する。

到達目標：

- △1) 免疫介在性溶血性貧血 (IMHA) の病態、診断法、治療法、予後を説明できる。
- △2) 免疫介在性血小板減少症 (IMT) の病態、診断法、治療法、予後を説明できる。

(6) リンパ系腫瘍

一般目標：

リンパ系腫瘍の病態、分類、診断法、治療法、予後に関する基礎知識を修得する。

到達目標：

- △1) リンパ腫の定義、病態、分類、診断法、治療法、予後を説明できる。
- △2) リンパ性白血病の定義、病態、分類、診断法、治療法、予後を説明できる。
- △3) 形質細胞腫瘍の定義、病態、分類、診断法、治療法、予後を説明できる。

(7) 白血病と骨髄異形成症候群

一般目標：

白血病と骨髄異形成症候群 (MDS) の病態と分類を理解し、その診断法、治療法に関する基礎知識を修得する。

到達目標：

- △1) 急性白血病の病態、分類、診断法、治療法を説明できる。
- △2) MDS の病態、分類、診断法、治療法を説明できる。
- △3) 慢性骨髄増殖性疾患 (CMPD) の病態、診断法、治療法を説明できる。